



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 エヌアイデイ 上場取引所 東  
 コード番号 2349 URL <https://www.nid.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小森 俊太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレートデザイン (氏名) 加藤 政次 TEL 03 (6221) 6811  
 本部長兼財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,270	4.3	345	25.5	446	43.0	299	42.4
2020年3月期第1四半期	4,095	△0.5	275	△17.6	311	△16.0	210	△15.6

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 426百万円 (81.7%) 2020年3月期第1四半期 234百万円 (△15.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	26.38	—
2020年3月期第1四半期	18.53	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	19,210	13,764	71.6	1,212.09
2020年3月期	19,044	13,588	71.4	1,196.58

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 13,764百万円 2020年3月期 13,588百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	22.00	22.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 現時点において2021年3月期の配当予想については未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,700	1.4	620	△16.3	730	△14.1	506	△10.6	44.56
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	13,109,490株	2020年3月期	13,109,490株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,753,759株	2020年3月期	1,753,704株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	11,355,744株	2020年3月期1Q	11,355,786株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	5
第1四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が制限される等大変厳しい状況下で推移し、緊急事態宣言解除後も依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、IT投資の先送りなどの動きも一部で見られる状況となっております。

このような環境の下、当社グループでは、リモート環境を活用した遠隔での開発業務の実施、時差通勤・在宅勤務の実施、出張や会議の削減等により、全役員及び社員が感染拡大防止に努めつつ、事業活動が継続できる体制を構築してまいりました。

一方で、リモートワークや業務プロセスの電子化等への関心の高まりなどを背景に、新たなデジタルビジネスの立ち上がりや需要の活性化により、中長期的にはIT投資がより加速することも考えられます。当社グループでは、短期的にはコロナ禍による受注減を最小限に抑制しつつも、中長期的には感染の収束後における市場ニーズに対応すべく、新規事業創出の取組みを開始しております。

このような取組みの結果、当第1四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

第1四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響が深刻化する前に受注した案件が多かったことから、各事業において安定した売上を確保しました。また、利益面では、業務プロセス見直しを実施したことによる販管費削減効果等により、増益を確保しました。その結果、売上高は4,270百万円(前年同四半期比4.3%増)、営業利益は345百万円(同25.5%増)、経常利益は446百万円(同43.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円(同42.4%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ①システム開発事業

当事業では、情報・通信、公共・社会インフラ、カーエレクトロニクス等の分野の売上・利益が増加しました。その結果、売上高は2,670百万円(前年同四半期比5.1%増)、営業利益は210百万円(同5.9%増)となりました。

## ②システムマネジメント事業

当事業では、運輸・通信、官公庁・団体等の分野の売上・利益が増加しました。その結果、売上高は1,253百万円(同3.0%増)、営業利益は104百万円(同47.7%増)となりました。

## ③その他

その他には、データソリューション事業、プロダクト事業、人材派遣事業を分類しております。

このうち、データソリューション事業、プロダクト事業の売上・利益が増加しました。その結果、売上高は347百万円(同2.8%増)、営業利益は28百万円(同640.8%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金並びに仕掛品の増加、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ261百万円増加し13,051百万円となりました。固定資産は有形固定資産及び繰延税金資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し6,159百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ166百万円増加し、19,210百万円となりました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、短期借入金及び流動負債その他の増加、未払法人税等及び賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ8百万円減少し2,518百万円となりました。固定負債は役員退職慰労引当金の増加、固定負債その他の減少等により、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し2,928百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、5,446百万円となりました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し13,764百万円となりました。

この結果、自己資本比率は71.6%(前連結会計年度末は71.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日発表の「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて、2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりましたが、2021年3月期第2四半期(累計)連結業績予想について、現時点で入手可能な情報に基づき算定し、公表することといたしました。詳細につきましては、本日(2020年8月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の今後の収束時期が不確実で、第3四半期以降、段階的な景気回復が見込まれるものの、当社顧客層のIT投資計画が依然として不透明であり、現時点において合理的に算定することが困難であるため、引き続き未定とさせていただきます。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,965,663	9,547,990
受取手形及び売掛金	3,503,045	2,818,645
仕掛品	138,756	283,973
その他	182,289	401,095
流動資産合計	12,789,754	13,051,704
固定資産		
有形固定資産	415,299	404,920
無形固定資産	197,793	196,224
投資その他の資産		
投資有価証券	4,076,669	4,065,201
繰延税金資産	997,002	927,786
差入保証金	349,332	343,986
その他	218,273	221,046
投資その他の資産合計	5,641,277	5,558,020
固定資産合計	6,254,370	6,159,165
資産合計	19,044,125	19,210,870
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	440,525	404,616
短期借入金	—	360,000
未払金	295,308	381,146
未払法人税等	358,432	163,054
賞与引当金	913,842	479,574
その他	519,385	730,133
流動負債合計	2,527,494	2,518,524
固定負債		
退職給付に係る負債	2,367,837	2,379,565
役員退職慰労引当金	494,200	501,737
資産除去債務	46,685	46,883
その他	19,853	—
固定負債合計	2,928,576	2,928,186
負債合計	5,456,070	5,446,710
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	13,309,760	13,359,494
自己株式	△1,227,333	△1,227,405
株主資本合計	13,224,454	13,274,116
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	343,180	471,442
退職給付に係る調整累計額	20,419	18,600
その他の包括利益累計額合計	363,600	490,042
純資産合計	13,588,054	13,764,159
負債純資産合計	19,044,125	19,210,870

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	4,095,115	4,270,918
売上原価	3,290,641	3,421,603
売上総利益	804,474	849,315
販売費及び一般管理費	529,347	503,895
営業利益	275,127	345,419
営業外収益		
受取利息	1,385	1,486
受取配当金	29,864	32,387
投資有価証券売却益	—	33,173
投資事業組合運用益	5,795	22,112
助成金収入	—	13,476
その他	4,787	2,715
営業外収益合計	41,832	105,352
営業外費用		
支払利息	368	391
租税公課	2,100	2,285
投資事業組管理料	2,458	1,862
その他	58	116
営業外費用合計	4,986	4,655
経常利益	311,973	446,116
特別利益		
固定資産売却益	—	346
特別利益合計	—	346
特別損失		
固定資産除却損	21	1,233
特別損失合計	21	1,233
税金等調整前四半期純利益	311,952	445,229
法人税等	101,578	145,667
四半期純利益	210,373	299,561
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	210,373	299,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,058	128,261
退職給付に係る調整額	△921	△1,819
その他の包括利益合計	24,137	126,442
四半期包括利益	234,511	426,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,511	426,004
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発事業	システムマネジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	2,541,127	1,216,207	337,780	4,095,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	358,377	33,900	211,369	603,647
計	2,899,505	1,250,108	549,150	4,698,763
セグメント利益	198,788	71,095	3,829	273,713

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	273,713
セグメント間取引消去	1,341
全社費用(注)	△105
棚卸資産の調整額	178
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	275,127

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	システム開発事業	システムマネジメント事業	その他	
売上高				
外部顧客への売上高	2,670,511	1,253,242	347,165	4,270,918
セグメント間の内部売上高又は振替高	403,697	26,472	181,437	611,607
計	3,074,209	1,279,714	528,602	4,882,525
セグメント利益	210,468	104,981	28,370	343,820

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	343,820
セグメント間取引消去	1,644
全社費用(注)	-
棚卸資産の調整額	△44
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	345,419

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。